

前篇

- HINA -

前篇

私を嫌いにならないで





それは昔の話……



— HINA





守矢の神社が現れるよりも  
昔の話

とある山には天狗と鬼が住んでいた

その麓の人間達はそれら天狗や鬼  
さらには妖怪の存在に  
恐怖しながら生きていた

そして、いつしかその山は

「妖怪の山」と呼ばれるようになった

だが、「妖怪の山」にも様々な神が居た

力を持たない人間達は  
神に信仰を捧げる事でその加護を得たり  
または、博霊の巫女の力によって  
辛うじて生活が出来ていた

しかし、依然人間達は凶悪な妖怪に対して  
自らの身を守る術は無く  
恐怖に晒された日常を余儀なくされる

その鬱憤は次第に歪んだ精神を  
育む温床になっていた

「妖怪の山」の麓の人間達……

その村は荒れていった





1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100



.....



ヒナちゃん……

今日もおじさんと  
「いいこと」しようねえ





ヒナちゃん



何をすればいいか  
わかってるよね？



ん…う

ヒナちゃんもキスが  
上手になってきたね

おじさん  
とっても嬉しいよ

…う

ん…う





すっかり  
上手になって

ヒナちゃんは  
えつちな子だねえ

おじさんのお  
おちんちんを  
しゃぶるのも



さあ

ヒナちゃん  
こっちにおいで



あ

あ…

おじさんの  
おちんちん…

膣内に  
入って…

ヒナちゃん

こつちも慣れてきた  
みたいだね

入って…ッ!!

ほら

おじさんのちんちんが  
すんなり入っちゃったよ







膾内に  
出すからね

ヒナちゃん…

ヒナちゃん…





それじゃあ

今度は恋人みたいになつこしなからやろうね

いや...

おじさんの液体が身体に入っちゃう


おじさんの液体が口の中で

おまんこの中で吸収されて

身体中におじさんの臭いが染み付いちゃう

すっ





おじさんの臭いが  
染み付いちやつて

おかしく  
なつちやうツ!!!



ヒナちゃん

それじゃあ  
おじさんは行くね

ヒナちゃんも  
お母さんと二人だけで  
大変だけど

大丈夫だよ

もうすぐ  
おじさんがなんとか  
してあげるからね

それじゃあ  
また会おうね

ヒナちゃん…







でも...

だからって  
こんな事...

お金がないと  
生活できないのも  
わかるよ

お父さんが  
居なくなつてから  
おかしいよ

私だつて  
お父さんが居なくて  
寂しいし辛いよ

.....お母さん  
お母さんは  
本当は優しい人なのに



ヒナお姉ちゃん



こんな事  
本当はしたくないよ





いつも  
ありがとう

見送りだよ

ううん

違うよ

大丈夫？  
また泣いてたの？



お姉ちゃん……

私の  
お父さんの事……

ごめんね……



あそこに誰か……



？

どうしたの？



それじゃあ  
行きましようか





……？

誰も居ないよ……？

あれ？

本当だ



いたずら好きの妖精でも見たんじゃない？

えー？

まあそんなこと  
どうでもいいじゃない



行きましょう？





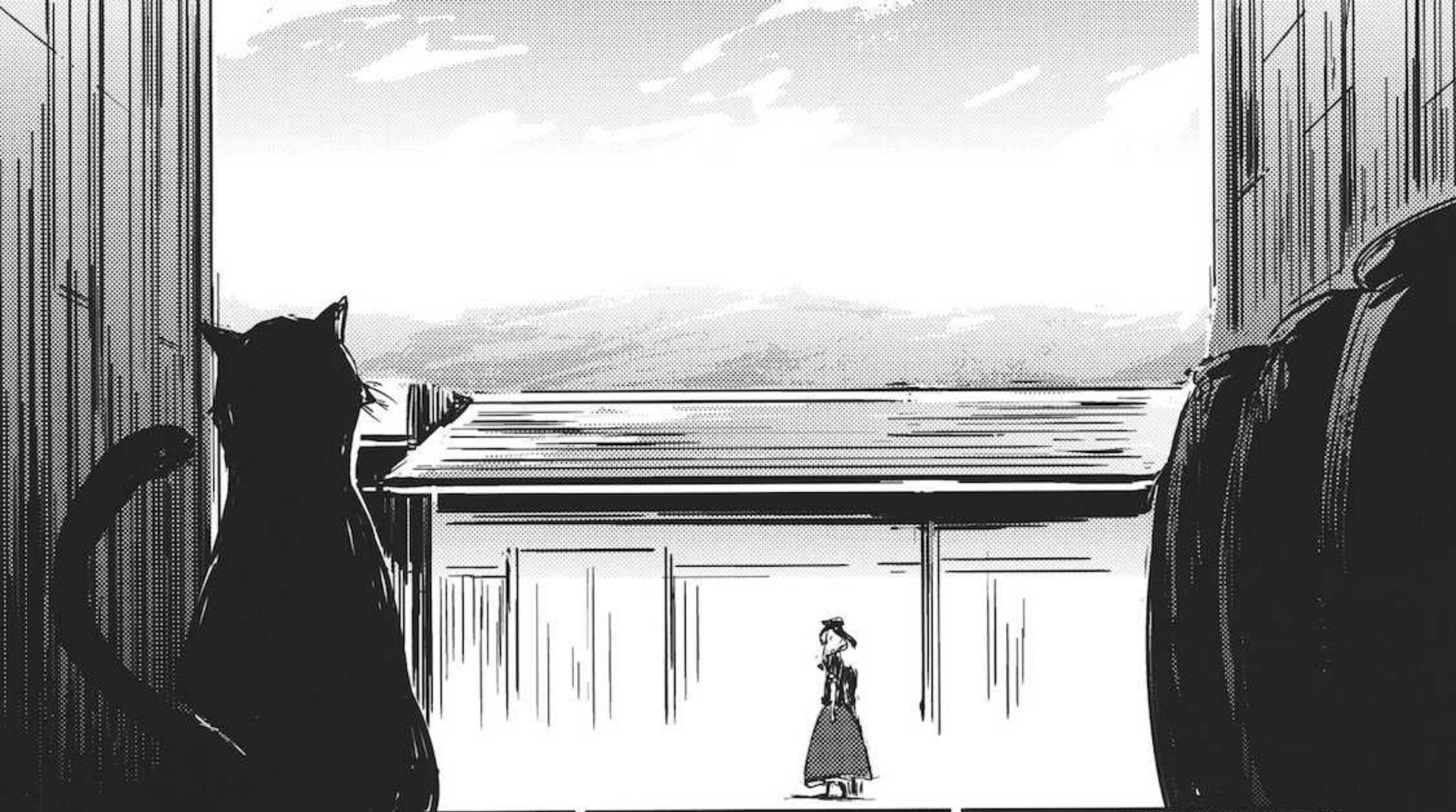
# 雛

- HINA -

前篇

私を嫌いにならないで





あの子が  
そうなの？

そうよ

あの派手な格好を  
見間違えうわけないわ

まあ…

あの子の母親は  
独り身になつても  
働き方も知らない  
世間知らずで

自分の娘を売って  
生活を続けてるのよ

亡くなったご主人に  
申し訳ないとか  
思わないのかしらね

まさか

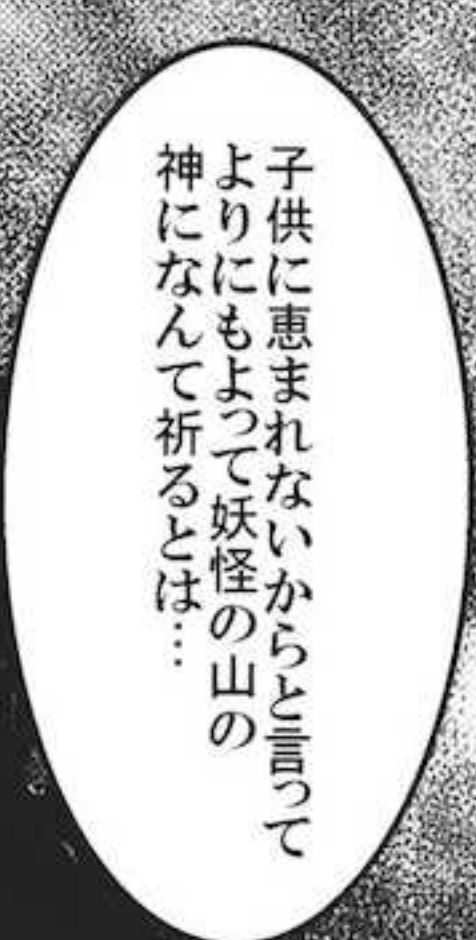
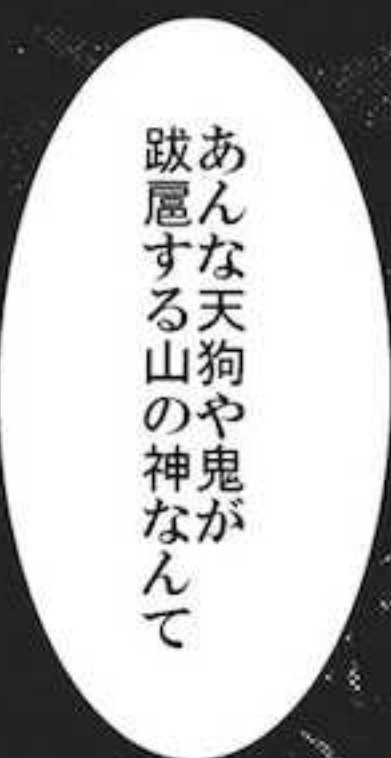
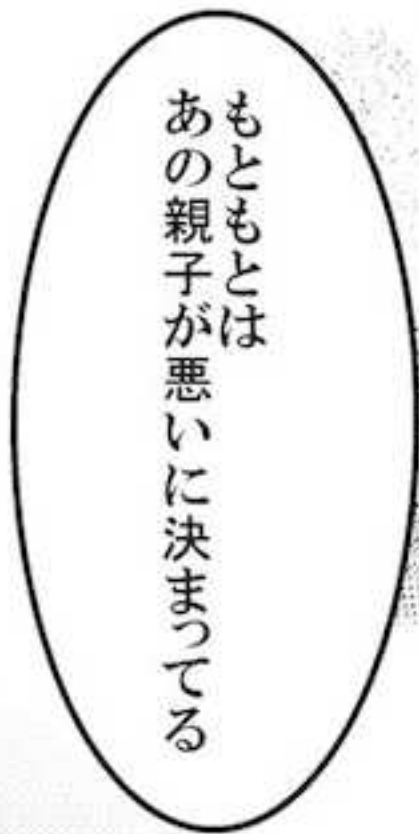
そう思うんなら  
あんな事やらせる  
わけないわ

あの派手な格好も  
客の気を引くために


母親がわざわざ着飾って  
あげてるんじゃない？











どんな疫病神が居るか  
わかつたものじゃないと言うのに

それを証拠に  
子供は出来たは良いが  
不幸続きで

数年前にととうとう  
父親のほうか  
亡くなつちまつたじゃねえか

あの子には  
近づかんほうが良い

村長もあんな親子  
放り出せば良いものを

村長自身が  
手をつけて  
放り出そうとしない

おまけに母親のほうは  
すつかり気が触れて

残された  
お屋敷で好き放題  
やっていると聞く

本当に迷惑な話だよ





ヒナちゃん

だめでしょう？

わがまま言っちゃ



ごめんなさい

お母さん



文句だけは  
一人前に吐いて

あんたは私の  
言う事もちゃんと  
聞けないクセに

何様のつもり



でも...

村の皆がお母さんの  
悪口を言ってるの

だからもう

黙りなさい!!!





商売道具の顔を  
傷つけられないだけでも  
感謝しなさい

わがままばかり  
言ううなら  
もう知らないわよ？

……はい



わかったなら

ちやんとママの  
役に立つのよ？



いやー

おじさん  
嬉しいよ

ヒナちゃんが  
おじさんのものに  
なつてくれて

高いお金を  
支払った甲斐が  
あったよ

え？

ちよっと  
難しかったかな？

今日からヒナちゃんは  
私の家でずうっと  
暮らすんだよ

君のお母さんには  
了承を得てるからね

.....?

もちろん足の  
傷の事も知ってるから  
大丈夫だよ

どういう事……？

ちやんと私が  
責任もつて  
面倒みるからね

いや……

やめて……


今までどおりで  
良いんだよお？





この人が  
何を言ってるのか

わからない



おじさんは  
ちゃんと知ってるよ

ヒナちゃんは  
お母さんに苛められて  
辛かったよね

やだ

いやだあつ!!



やだッ!!

でも  
もう大丈夫

やだよおッ

おじさんと居れば  
辛い事なんて  
ないからね



ずっとおじさんの  
ところにいるの

やだあ…

これから  
毎日かわいがって  
あげるからね

ヒナちゃん





お母さん…

私はいらない  
子供なの？



お母さん…



もう一度

会いたい…

会って…

確かめたい



数日後

俺たち下人が使う  
勝手口の鍵が  
欲しいからつて

こんな所まで  
来るとはな

あの…  
約束は…

もちろん  
守つてやるさ

^^^…  
本当に来やがったぜ

ただし

俺たちを  
満足させられたらな

こいつは  
聞いてたとおり  
とんだ淫売だぜ

男の悦ばせ方を  
知つてやがる

これなら  
こいつを使つて  
楽しめそうだな

こいつを使えば  
ぶつ倒れるまで  
腰を振るぜ

ああ  
手慣れて  
やがるぜ…

え…?

何あれ……





やだ…

おらッ

怖い…

おとなしく  
腕を出しな

あ…

あ

ちゅ  
う

あ…うう…

あ



からだ…  
が

う…

や…

あたま…  
なにも…

やだ…

…う…あ

…いや…



おい

こいつ  
こつちのほうも  
いけそうだけ

あつ…

おしり…

おしりのあな  
ほじられてる…

あッ

ほら

すんなり  
入ってくぜ

そつちも使つたら

それじゃあ

私のなか

知らない男の人で  
いつぱいになつちやう!!

ケツまんこの方も  
使わせてもらおうか



娘が居るくせに  
村の女の子を  
困うなんてよ

しっかし  
あのスケベじいも  
とんだロリコンだよな

そり言うな

その可愛そうな娘の  
願いをかなえてやるのが  
俺達良い大人だろ？

見てみるよ

すっかり  
夢心地じゃねえか





あ...ん

やっ

おまんこ  
好きい...

ぶほっ



すき  
すきい

んっ

んっ



きゅお...

きゅ



おしりの中も  
いっぱいグチョグチョ  
されて  
すごく熱いよお



あッ

あッ  
ダメッ

まっしろ

トンじゃうッ!!

頭の中  
真っ白に飛んじやう





まだまだ  
たつぷりかわいがって  
やるからな

安心しろ



ハハハッ

こいつ  
お漏らしするほど  
よがつてるぜ



ふう

いやー  
出した出した

もう  
すっからかんだわ

ヒナちゃんも  
お疲れ様



約束だからな

鍵はくれてやる

バレないうちに  
さつさと  
逃げ出すんだな











帰ってきたよ？

私…

お母さん

ねえ…



鍵…

かけたままだよ？

あれ？  
おかしいな…



ここを  
開けてよ…

ごめんなさい…  
ちゃんと謝るから

お願いだから

開けてよ

ねえ…

お母さんの  
言うことなら  
なんでもきくから

私…



ごめんなさい  
もうわがまま  
言わないから…



私…

どんなひどい事されても  
お母さんの事

好きだよ？

愛してるの

信じてるの

今はちよつと  
疲れてるだけだよね？

きつとお父さんが  
いなくなる前の

優しいお母さんに  
戻ってくれるって

私…

信じてるの…

だから…

だから……



私を嫌いにならないで

私を見捨てないで

お願い…

お願いだから…

もうやだよ……

こんなの…

嫌だよ…





助けて……

助けて……

お母さん……

お母さん



## あとがき

はじめまして、こんにちわ。レフトハンドです。  
ここまでお付き合い頂きありがとうございます。

描きたい描きたいと思っていた雛ちゃんの話をやうやく描けました！  
やったー！！

最初に出した本で何で雛ちゃん出てきたの？って思った方。  
こっちがメインです。  
むしろあっちがサブストーリーです。  
ですけどエロやるかやらないか。いや、やろう。やるならちゃんと準備しよう。  
って事で今回ようやく描けました。

a Puppet Show と同じくこの話は全部で3回やります。3回で完結させます。  
それとこの話の**総集編はそのうち出します。**

というのもやっぱり続き物は一気に読みできたほうが良いかと思ひまして。  
ただ、出すには出しますが総集編は来年以降なのは確実です。  
それでも引き続きお付き合い頂けたら嬉しいです。

もうひとつ大事な事。

### この後のシナリオにエロはありません。

エロ展開を期待されてる方はごめんなさい。  
はっきりと言っておきます。

また、この話は以前出した「a Puppet Show」の外伝的扱いになります。  
元々は「a Puppet Show」に入るはずのシナリオだったんですけど物語の趣旨とは外れるし  
冗長になるので省いたシナリオです。  
それをエロ要素追加で修正したものが今回の話です。

「a Puppet Show」のほうでこの話の結末がある程度描かれてますけど  
そのあたりを詳細に描く予定です。  
お楽しみに！

「a Puppet Show」のほうはなんやかんやで総集編を出すに至ったのですが  
「虚空の空」の総集編は出さないの？と聞かれます。  
「虚空の空」は忙しい時にネームきったり作業したりしたので全てをリメイクするレベルで  
描き直して完全版で出したいなあ、と思ってます。  
もう少し描き込みを増やして省略された部分も全て導入するといった形で。  
という構想が描いてる時にありまして、長い目でお付き合いして頂けたらこれまた嬉しいです。  
ただし「雛」の総集編が出た後の話になりますけど…

それでは、今回はこの辺で。  
次の話は冬コミに出すと思ひます。  
紅楼夢は申し込みましたがそこではアリスの料理本だします。

2012/08/11 レフトハンド

※有志の方から追加のネームを頂きました。  
ありがとうございます。

※今回も鮫肌先生からゲストもらえました！  
やったー！さめはだ先生すけべえ！





レレレレレ  
子世世子

たかやぶ



# 雛

- HINA -

特別篇

ひなちゃんとせいりつくす

原案

あさ 先生

身体がだるい……

おなかがいたい……

……



さあ

ヒナちゃん

今日も  
おじさんと...

.....お?

おいおい

ヒナちゃん

女の子の日かい

血.....

やっぱり.....



あの…

今日は

これなら

前戯は  
いらないね

お…

おお

くるしい…

おなか…

ヒナちゃん  
わかるかい？

子宮の入り口が  
開いてるよ

いた…い…

おおお…

奥の奥まで  
おちんちんで

突かれてるッ!!!

血が出てぬるぬるで

気持ちいいよ!!!



膣全体が  
ちんこに絡み付いてッ

でッ  
射精る

ふー……

おじさん  
これハマつちやいそうだよ

それじゃあ

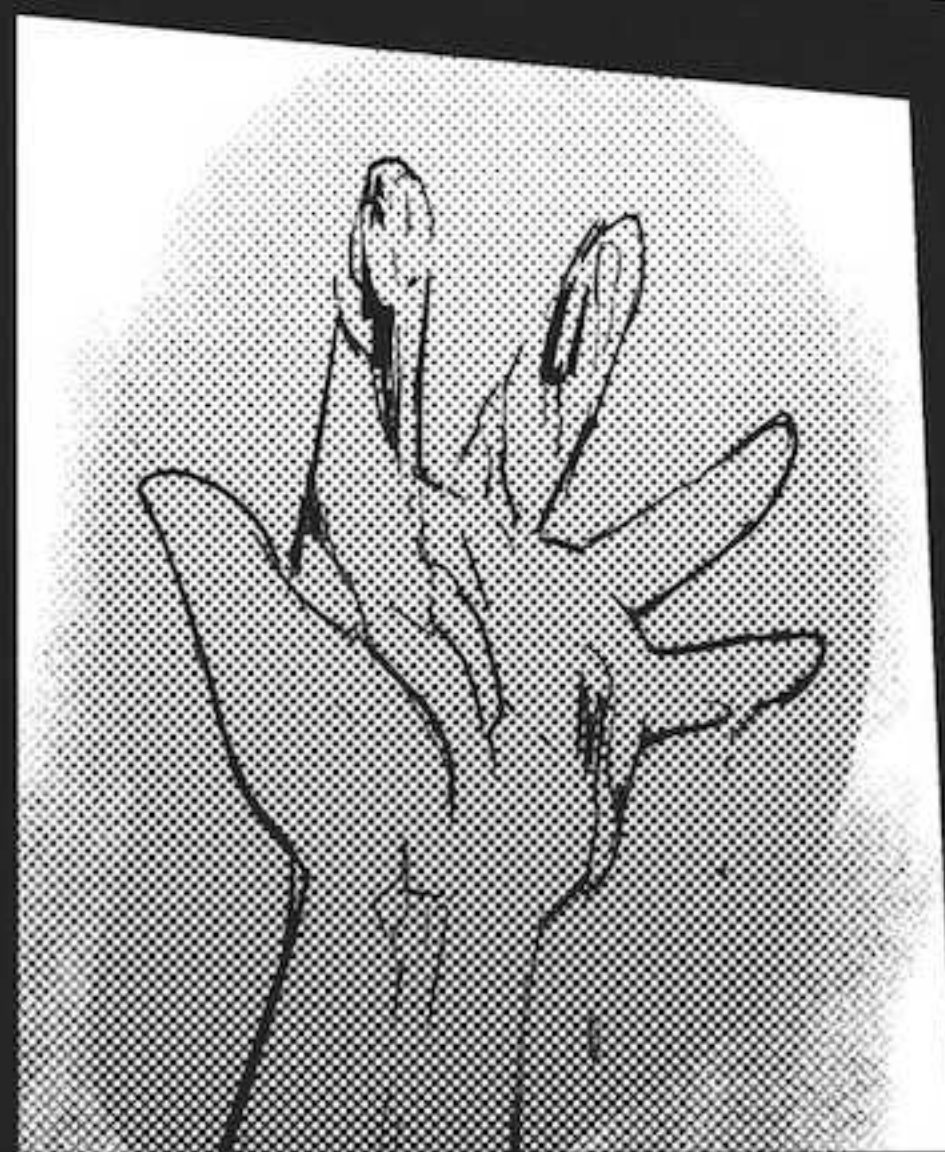
もう一回やろうか



んんん...

ヒナちゃんの血

甘くて  
おいしかったよ



.....

おいしくない...



# 奥付

原作  
東方Project/上海アリス幻楽団

発行 レフトハンド/しぐれえび  
<http://kano12456.web.fc2.com/index.html>  
<http://www.pixiv.net/member.php?id=15975>  
<http://twitter.com/lefthand12456>

題字協力 千来 様  
<http://www.pixiv.net/member.php?id=186999>  
(ありがとうございました!!)

ゲスト原稿  
さわやか鮫肌先生  
<http://adahemas.blog.fc2.com/>  
<http://www.pixiv.net/member.php?id=176236>  
<https://twitter.com/adahemas>  
(さわやか鮫肌先生に励ましのお便りとヌンチャクを送りましょう!!)

スペシャルサンクス  
あさ先生  
<http://kutasari.blog.fc2.com/>  
<http://www.pixiv.net/member.php?id=72731>

ネームありがとうございました。

印刷 栄光 様  
初版 コミックマーケット82 (2012/8/11)

無断転載・無断コピー・アップロード等  
著作権法に基づいて違法と判断できる行為は禁止致します





次回

時を同じくして



災厄が少女に襲いかかろうとしていた

その劫火へと消え行く故郷に



少女は何を見るのか

中篇

「あなたに人の心なんてわからない」



2012.8.11

しぐれえび